



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月3日

上場会社名 株式会社 あみやき亭

上場取引所 東名

コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐藤 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 松井 貴志

TEL 0568-32-8800

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

2022年12月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	13,644	49.7	△56	—	177	△77.6	△87	—
2022年3月期第2四半期	9,112	△7.3	△2,580	—	793	—	458	—

(注)包括利益 2023年3月期第2四半期 △87百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 458百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△12.75	—
2022年3月期第2四半期	66.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	24,193	19,916	82.3
2022年3月期	24,546	20,140	82.0

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 19,916百万円 2022年3月期 20,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2023年3月期	—	10.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定とさせていただきます。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,780	38.1	1,000	—	1,080	△18.7	650	3.6	94.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	6,848,800 株	2022年3月期	6,848,800 株
2023年3月期2Q	446 株	2022年3月期	446 株
2023年3月期2Q	6,848,354 株	2022年3月期2Q	6,848,354 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する日常生活の制約や経済活動への制限も緩和され、持ち直しの兆しも見られました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染に対する潜在的な不安に加え、世界的な金融引き締めが進む中での日本銀行の金融緩和政策継続等による急激な円安や、ロシアのウクライナ侵攻等による原料・エネルギー価格の上昇に伴う世界的なインフレの加速等、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、3年ぶりに営業制限のないゴールデンウィークやお盆を迎えることができたものの、新型コロナウイルス感染症の第7波による消費者マインドの低下、円安等の影響による原材料価格・光熱費の高騰や人件費の上昇等、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、お客様と従業員の安心と安全を第一に考え、お客様に選んでいただける店舗づくりを目指す一方、食肉工場直送の美味しい「お肉」と精米したての「お米」にこだわったステーキのファーストフード業態である「感動の肉と米」の東京・新橋への進出を始めとする新規出店に加え、新たな成長を目指した業態転換を加速して参りました。

また、当社グループは、昨今のインフレによる物価高騰から、従業員の生活を応援し、安心して業務に打ち込めるようにする目的で実質的な昇給である「物価上昇応援手当」の支給をいたしました。

店舗数につきましては3店舗（レストラン事業3店舗）出店し、4店舗（いずれも焼肉事業）退店、5店舗（焼肉事業1店舗・焼鳥事業2店舗・レストラン事業1店舗・その他の事業1店舗）業態変更したほか、4月に吸収合併いたしました子会社のしゃぶしゃぶ店3店舗（その他の事業）を加え、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は265店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、13,644百万円（前年同期比49.7%増）、営業損失56百万円（前年同期営業損失2,580百万円）、経常利益177百万円（前年同期比77.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失87百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益458百万円）と極めて厳しいものとなりました。

<焼肉事業>

焼肉事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、181店舗であります。内訳は、あみやき亭105店舗、あみやき亭PLUS2店舗、どんどん21店舗、かるび家2店舗、スエヒロ館24店舗、ほろたん屋15店舗、ブラックホール5店舗、ホルモン青木他7店舗であります。

当社が経営する「あみやき亭」では、品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値観・満足感のある商品」を提供するとともに、接客・サービス向上に向け「新しい生活様式」に沿ったクリンネス、キッチン・ホールのオペレーション等基本の徹底を図るなどの既存店強化に努めてまいりました。また、あみやき亭PLUSは、和牛食べ放題を中心に、今後とも展開してまいります。株式会社スエヒロレストランシステムが経営する焼肉「スエヒロ館」につきましては、「スエヒロ」ブランドとの知名度と「食肉の専門集団」である強みを生かした和牛商品を「チェーン店価格」で提供するなどグループシナジーを發揮した展開をしております。株式会社杉江商事が運営する「ホルモン青木」をはじめとしたホルモン焼店につきましては、当社の「食肉の専門集団」の強みを活かしたコスト見直しを実施するとともにブランドの知名度を活かした展開を行っております。

以上の結果、焼肉事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、10,334百万円（前年同期比39.4%増）となりました。

<焼鳥事業>

焼鳥事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、42店舗であります。

焼鳥事業は、当社が経営する「元祖やきとり家美濃路」であります。焼鳥事業におきまして、焼きの技術向上に努め、「美味しくて、安い」焼鳥や釜めしの品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値観・満足感のある商品」の提供をするとともに、接客・サービス向上に向け、基本の徹底を図るなどの既存店強化に努めてまいりました。

以上の結果、焼鳥事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,223百万円（前年同期比94.8%増）となりました。

<レストラン事業>

レストラン事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、31店舗であります。

内訳は、当社が経営するステーキのファーストフード「感動の肉と米」14店舗、「ミートグリルAMIYAKITEI」1店舗、株式会社スエヒロレストランシステムが経営するレストラン「スエヒロ館」16店舗であります。

以上の結果、レストラン事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1,555百万円（前年同期比82.8%増）となりました。

<その他の事業>

その他の事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、11店舗であります。

内訳は、当社が経営する精肉小売店「お肉の工場直売市」1店舗、しゃぶしゃぶ店「しゃぶ亭ふふふ」2店舗、株式会社スエヒロレストランシステムが経営する居酒屋「楽市」3店舗、寿司業態の「すしまみれ」3店舗、イタリアンレストラン「Capitolo 2 dal SpaccaNapoli」1店舗、ダイニング1店舗であります。

以上の結果、その他の事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は530百万円（前年同期比141.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産額は、24,193百万円となり、前連結会計年度末と比較し、353百万円減少いたしました。主な要因は未収入金の減少によるものです。

負債総額は、4,277百万円となり、前連結会計年度末と比較し、129百万円減少いたしました。主な要因は未払法人税等の減少によるものです。

純資産総額は、19,916百万円となり、前連結会計年度末と比較し、224百万円減少いたしました。主な要因は利益剰余金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年4月4日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,238	9,400
預け金	74	127
売掛金	2	0
商品及び製品	65	73
原材料及び貯蔵品	1,159	1,436
未収入金	1,579	724
その他	313	325
流動資産合計	12,434	12,087
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,770	3,674
構築物(純額)	213	230
機械及び装置(純額)	258	249
車両運搬具(純額)	11	8
工具、器具及び備品(純額)	237	366
土地	2,709	2,709
建設仮勘定	15	17
有形固定資産合計	7,216	7,256
無形固定資産		
ソフトウェア	11	11
のれん	721	682
その他	15	14
無形固定資産合計	749	708
投資その他の資産		
投資有価証券	5	—
長期貸付金	299	285
繰延税金資産	1,374	1,410
差入保証金	1,447	1,449
投資不動産	298	297
その他	721	698
投資その他の資産合計	4,146	4,140
固定資産合計	12,112	12,105
資産合計	24,546	24,193

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,089	875
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	69	65
未払金及び未払費用	1,216	1,289
未払法人税等	365	137
契約負債	77	77
賞与引当金	147	111
株主優待引当金	6	18
その他	285	594
流動負債合計	3,558	3,470
固定負債		
長期借入金	26	—
リース債務	306	295
退職給付に係る負債	6	7
資産除去債務	440	446
その他	66	57
固定負債合計	847	806
負債合計	4,406	4,277
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	15,241	15,017
自己株式	△1	△1
株主資本合計	20,140	19,916
純資産合計	20,140	19,916
負債純資産合計	24,546	24,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,112	13,644
売上原価	3,644	5,220
売上総利益	5,468	8,424
販売費及び一般管理費	8,048	8,481
営業損失(△)	△2,580	△56
営業外収益		
受取利息	0	1
受取賃貸料	28	18
助成金収入	3,339	211
協賛金収入	6	1
その他	2	3
営業外収益合計	3,377	236
営業外費用		
不動産賃貸費用	1	1
支払利息	0	0
匿名組合投資損失	2	0
営業外費用合計	3	1
経常利益	793	177
特別利益		
固定資産売却益	0	—
受取保険金	0	0
受取補償金	210	—
特別利益合計	210	0
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	—	10
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	4	18
減損損失	188	188
特別損失合計	192	218
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	812	△40
法人税、住民税及び事業税	185	83
法人税等調整額	168	△36
法人税等合計	354	47
四半期純利益又は四半期純損失(△)	458	△87
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	458	△87

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	458	△87
四半期包括利益	458	△87
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	458	△87

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。